



見沼代用水ができて、 もうすぐ三〇〇周年を迎えます



見沼代用水（閘戸 五庵橋付近）



井澤弥惣兵衛為永の銅像（さいたま市緑区）

今から約300年前の江戸時代に、当時幕府の役人であった井澤弥惣兵衛為永が、わずか6か月という短期間で見沼代用水を造ったことをご存じですか。

18世紀初頭、8代将軍の徳川吉宗は米の増産によって幕府の財源を再建するため、新田開発を奨励しました。それまでは地域の比較的狭い地形を有効に利用した「溜井（溜池と同じ）」を水源としていましたが、そのかんがい面積はすでに限界に達していました。吉宗に招聘された「紀州流」の優れた土木技術者、井澤弥惣兵衛為永はより広域の水源の利用の可能性を検討

し、抜本的な改善策を考えました。享保13年（1728年）、井澤弥惣兵衛為永は当時利用していた見沼溜井を廃止、干拓し、代わりの水源を確保するため、約60km離れた利根川から引水する見沼代用水（見沼に「代わる」用水）を完成させ、現在の姿となりました。現在も利根大堰で取水し、行田市・蓮田市・さいたま市・川口市など、県内15市2町を流れる約80キロメートルの農業用水で、日本三大農業用水の一つです。

令和元年には歴史的・技術的な価値が認められ、世界かんがい施設遺産に認定されました。

はすだ観光協会設立30周年企画 見沼代用水歴史講演会を開催します

日時 9月30日(土)午後1時、開場正午

場所 ハストピア（総合文化会館）

内容 第1部・貴重な映像の上映「見沼代用水―先人の土木技術―」、第2部・講演①井澤佳代さん（井澤弥惣兵衛為永の自家ご子孫・井澤弥惣兵衛さんを知ろう会会長）、山添高道さん（同事務局長）、講演②見沼代用水土地改良区職員

定員 500人
費用 無料

申込み 9月20日(水)までに、参加する全員の氏名・年齢・住所・電話番号・9・30歴史講演会希望と記入し、FAX76511700または申込み専用フォーム

問合せ はすだ観光協会事務局（商工課内）内線237



▲申込み専用フォーム